

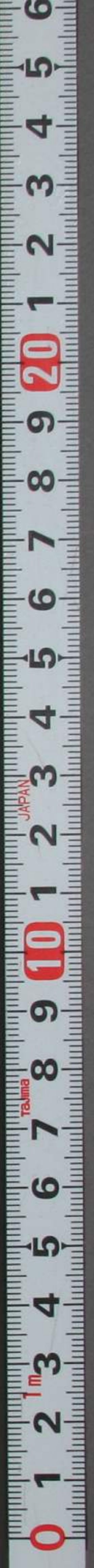


噶什喀尔誌六

共十五册



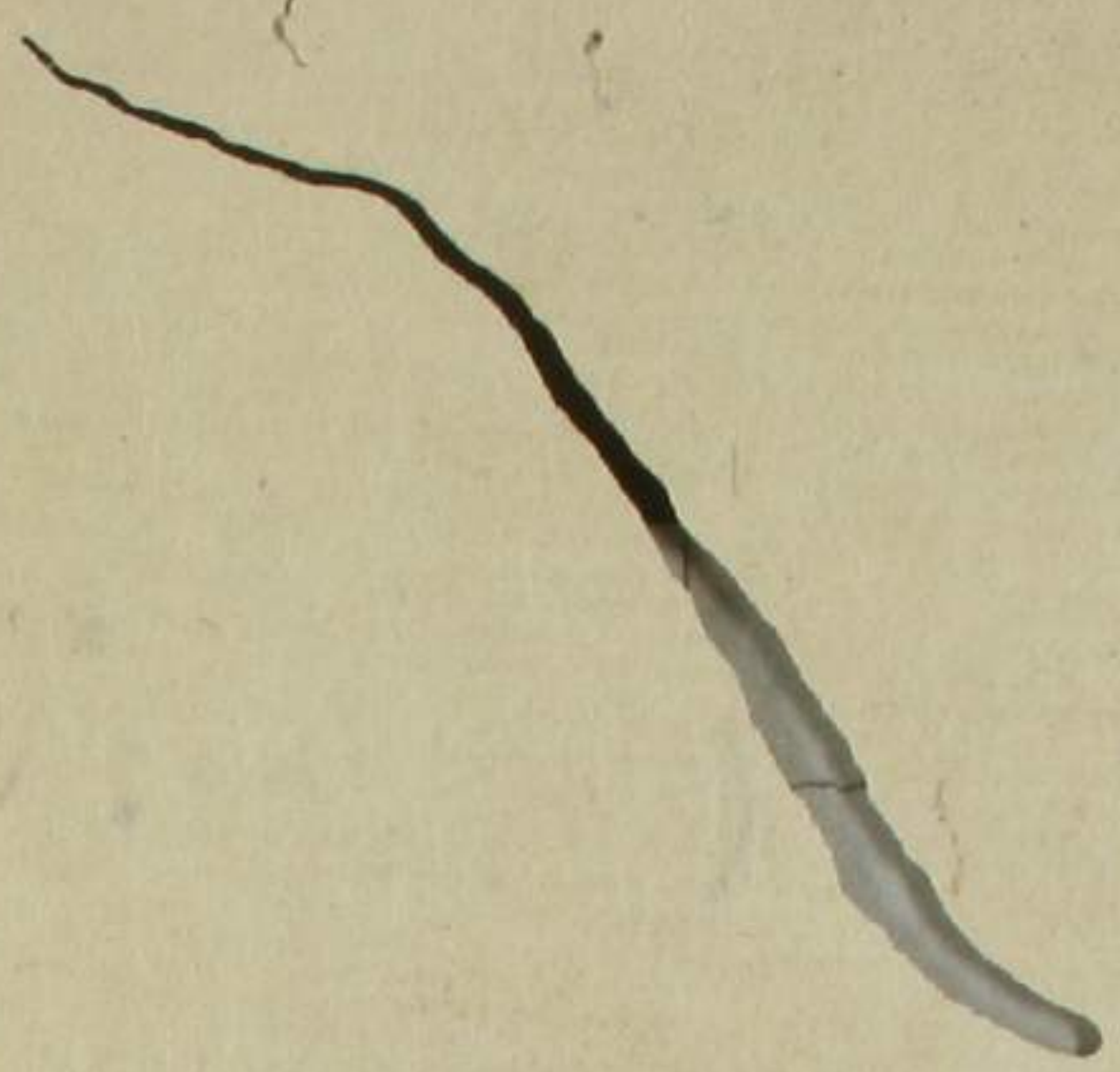
| |
|------|
| ル 5 |
| 3210 |
| 6 |



0158
3



祖 齋 二 尊
一 年 十 月 廿 日



第五章

千八百二十五年支那人ニ及セシ^ツツゼン

ギル、^{チユ}ノ事 千八百三十年浩罕人ノ侵

入^{ホドシヤ}ノ事 七人ノ^ホ

ド^{カッタ}及乱ヲ起ス^{リヤ}ノ事 千八百五十七年

ノ及乱^{ワリ}ハ^{チユ}ノ事

支那人ハ準噶尔及^チ噶什喀尔ヲ略取セシ^ツノ

容易ナリシヨリ大ニ尚武ノ風ヲ振起セリ千六

百五十六年同五十八年同六十年ニ放テ支那ノ

軍隊ハ中部落ノ曠野ニ進入シ部落ノ汗ヲシラ

参謀本部

昭和十五年七月三日
西德二郎氏贈

支那ニ服従セシム之ニ次テ小部落ノ汗并ニブルト人^カラ^キルギ^ノ酋長モ亦支那ニ服従ス於是^キルギズ^ノ人ハ毎年馬及ヒ角屬獸百頭ニ付一頭山羊千頭ニ付一頭ヲ納メ以テ貢祖トナスノ責ヲ負ヘリ此貢祖ヲ徵集スル為メ支那人ハ四隊ノ軍兵ヲ發遣ス其軍隊ハ營ニ貢祖ヲ徵集ス^ノミナラス又支那ノ威權ヲ^キルギズ^ノ人ノ土地ニ觀スノ目的ナリ

二隊ハ伊犁一隊ハ^タラバガタイ^ノ又一隊ハ噶什喀爾ヨリ發遣ス^タラバガタイヨリ出テシ一隊

ハ伊犁ヨリ出テシ一隊ト^アヤグ^ノズ^ノ谷地ニ於テ合シ^ボコ^ノパ^ノトル^ノ間ニ在リ^キラ伊犁ヨリ出テシ第一隊ハ噶什喀爾ノ^トナル^ノ谷地ニ於テ合ス

以上諸隊ハ租稅ヲ徵集シテ歸ル通例支那ノ商人ハ此諸隊ニ隨行シ其商品ヲ以テ家畜ト交易シ未開ノ^キルギズ^ノ人ニ因テ利ヲ得ル^ト最モ多シ

其後嗣ナル^タグ^ノビ^ノハ^ノボ^ノグ^ノゾ^ノイ^ノハ^ニ降服ス

斯ノ如ク支那人ノ養功ハ甚タ速カナルヲ以テ
中央亞細亞ノ人々ハ遂ニ勝ツ可ラサルモノト
ナシ支那人ノ威名ハ中亞細亞ニ赫々タリ
支那人ハ是ヨリ自負心ヲ起シ遂ニ「ブハラ」サマ
ルカンド及ヒ「タシケン」トノ攻略ヲ圖ルニ至ル
其出軍ノ報ハ忽チ當時中央亞細亞ノ諸国主ニ
達シシカハ皆一般ノ大敵ト思惟シ各自ノ争鬭
ヲ止メテ相連合ス其時亞業斯坦ノ主「アフメー
ト、シャフ」モ亦之ニ同盟ス其「ガザワ」即チ正ヲ
以テ不正ヲ討ツノ軍ニ同盟セシメン為メ「ムッス

リマ」ノ諸國ニ檄文ヲ傳フ同盟既ニ成リ千七
百六十三年亞業斯坦ノ兵ハ巴ニ「ホドゼン」トニ
至ル

此最大ノ合從ハ其功ヲ奏スル能ハス亞業斯坦
人ハ兵ヲ引テ本國ニ歸リ其餘ノ國主ハ皆以為
ク強大ノ敵ト戰フキハ其力足ラズト唯「ウチツ
ルハシ」府及ヒ「バダフ」府ノミカラ尽クシテ
防禦ノ法ヲ講セリ
「ウチツルハシ」ハ同盟ノ援助ヲ恃ミ及乱ヲ起セ
シト雖モ我輩ノ既ニ記セシ如ク其人民ハ支那

參謀本部

人ノ屠ル所トナルバダフジャン^ル府ハ美麗ノ都府
ナリシガ亜業斯坦ノ兵ニ蹂躪セラレ其主^ルスル
メン、シマフ^ルハ遂ニ刑戮ニ就ク蓋シ之ヲ刑セシ所
以ハ支那人ノホタニ^ルヲ攻囲セシ時鳴什喀尔國
ヨリ逃走セシホドジ^ルヲ保護セサルノミナラス
二人ノホドジ^ルヲ俘擒シ其頸ヲ斬リ北京ニ送ル
ニ同ルナリ
支那人ハ中央亜細亞ノ諸國主皆無カナルヲ見
テ其威權ヲ恣ニシテ^ルジャチ、ホイ^ルノ制足セル良策
ハ漸ク之ヲ遵奉セス遂ニ降伏人ヲ御スルノ法

ヲ誤リシハ其人民ヲシテ支那人ヲ猜忌スルニ
至ラシム蓋シ^ル鳴什喀尔國ノ諸府ニハキム、ベ
ク^ルヲ命シ且ツ其他ノ官吏ヲ命スルニ土人ヲ用
ヒ^ルシテ支那西部ノ人ヲ採用シ又人民ヲ役シ
テ廣大ノ^ルグリバフ^ルヲ築造セシハ其失策ノ中ニ
屬スルモノナリ^ルグリバフ^ルナルモノハ支那ノ衛
戍兵ヲ屯スルノ城郭ナリ
グリバフ^ルヲ直訳スレハ華園ナレ^ル保城ヲ名
ツケテ言フナリ支那^ルハ土人ノ府ヲ距ル遠
カラサル所ニ於テ^ルグリバフ^ルヲ築キ長官衛戍

卷
第
一
部

兵ヲシテ其中ニ居ラシム「ゲリバフハ土人ヲ
役シテ築造セシモノ」ニテ甚堅固ナリ且ツ其
中ニ糧食ヲ蓄積シタリハ久シク同守シテ後
兵ノ來ルヲ待ツ可シ
支那西部ノ州郡即チ「ハミ」府或ハ「ク」ニヤツルハ
シヨリ來レル官吏ハ唯其家ヲ富サントノ目的
ニテ常ニ其方法ヲ講スルヲ以テ務トス上「ハ
キーム、ベク」ヨリ下昇官ニ至ルマテ人民ヲ見ル
「恰モ牝牛ノ如ク其乳汁ヲ搾取スル」ヲ殆ント
其力ニ堪ヘサルニ至ラシム

「ハキーム、ベク」ノ民血ヲ絞ルハ支那ノ長官明ニ
之ヲ知ル而テ之ヲ不問ニ置クハ其長官モ亦之
ニ因テ利益ヲ得シナラン支那ノ長官奢侈ノ生
活ヲ為スヲ見ルキハ人血ヲ吸収スルノ盜ハ其
長官ニ賄フ「甚タ饒ナル者ト思ハサル可ラス
總テ不平ヲ訴フルモノハ之ヲ死刑ニ處シ其他
人民ヲ虐スル「甚シ故ニ人民ノ氣カアルモノ
ハ浩罕」「ブハラ」及「タシケン」トニ脱スルモノアリ
我輩ハ噶什喀尔國ノ攻略セラレント「ヲ記シ」ホ

參謀本部

タンノ降伏後唯白山派ノ「ボドシャ」サルイム、サー
ク一人其命ヲ保テシ「ク」ヲ知ル此「ホドジャ」ハ久シ
ク浮浪ノ身トナリ遂ニ滂罕ニ移住シ此土ニ於
テ噶什喀尔ノ脱籍人ヲ糾合シ一ノ教党ヲ立テ
以テ噶什喀尔国ヲシテ支那人ノ軛ヲ免レシメ
ント欲ス其党ハ西部土耳其斯坦ノ諸府ニ徃來
シ以テ其党與ヲ募リ同意者ヲ勸奨スルニ宗教
ノ為メニ身ヲ抛テシ人々ノ「ク」ヲ以テス噶什喀
尔國ノ人民ハ浩罕ヨリ來レル高人ニ就テ其風
説ヲ聞キ「カ」ルイム、サー「ク」ヲ慕フ「ク」恰モ其救也

主ノ如ク切ニ其侵來ノ時ヲ待テリ
然レ始テ支那人ノ危害ヲ醸セシモノハ浩罕ノ
地ヨリ來ラス千八百十六年黒山派ノ一人「ジ」ア
ウ「ダ」ンハ山中ニ入り「キ」ルギズノ民群ヲ招集シ
以テ噶什喀尔國ノ人民ヲ興起セシメン為メ其
襲撃ヲ試ミタリ是乃チ五十年ノ太平ヲ擾スル
ノ始トス然レ「ジ」アウ「ダ」ンノ兵利アラズシテ「キ
ルギズ」ノ民群ハ大ニ敗レ「ジ」アウ「ダ」ンハ自殺シ
其幼兒ハ北京ニ送ラレ成年ニ及ンテ刑ニ就ケ
リ

蒙古源流

此又札ノ後支那人ハ浩罕ヨリ「サルイム、サク」ノ
襲来スルヲ恐レ浩罕ノ汗「オマル」ト約シ毎年ニ
百「ヤン」バ「ル」ソ「ブ」ニ「カ」ヲ贈リ汗ヲシテ嚴ニ「ホドジャ」
ヲ監察セシム當時「サルイム、サク」ハ自ラ噶什喀
尔國主ト称セリ
「サルイム、サク」ニ三子アリ「メヅ」ユス「フ」ホド「ジャ」
「バハ」左「ゲン」ホド「ジャ」及「ツ」ゼン「ギル」ホド「ジャ」ナリ
「ツ」ゼン「ギル」ホト「ジャ」ハ噶什喀尔國ノ運命ニ付テ
ハ大名ヲ擧ケ以テ流血ノ歴史ヲ残ス
千八百二十年浩罕ノ汗「オマル」死シ之ニ次テ「サ

ルイム、サク」モ亦死ス其諸子中「ツ」ゼン「ギル」ホド
「ジャ」ハ最モ勇敢ノ人ナリシカ遂ニ事ヲ擧ル「フ」ヲ
決シ浩罕ヨリ走テ天山ニ入り「カ」ラ「キル」ギズ「人」
ヲ誘導シテ支那人ヲ襲フ「ツ」ゼン「ギル」ハ第一戦
ニ於テ利ヲ失ヒシト雖「カ」更ニ屈撓セス其事業
ヲ「ヘル」ガン「ル」ノ天山ヨリ「サルイム」ニ移シ其教徒
ヲ四方ニ派遣シ以テ同志ヲ募リ其ヲシテ宗教
ノ為メ「ア」バ「ク」ノ麾下ニ從テ支那人ニ及セシ
ム
是時偶然ノ事件アリテ「ツ」ゼン「ギル」ノ事業ヲ扶

參謀本部

ケタリ支那人ハ不急ニツジエンギルヲ襲撃シ以テ及乱ノ根本ヲ絶ント欲シ五百人ノ支那兵ヲ率ヒテナルインニ進ムツジエンギルハ速ニ其事ヲ偵知シ走テ其鋒ヲ避ケ次ニ其同志ヲ招集シ地理ニ審ナルヲ以テ支那兵ノ帰路ヲ断テテ之ヲ鏖殺ス總テ亞細亞人ハ事ヲ誇大ニスルノ風アレハ是捷聞ハ大ニ四方ニ傳播セシテ以テツジエンギルニ從フモノ四方ヨリ雲集シ千八百二十六年ノ春ツジエンギルハ大兵ヲ率ヒテ噶什喀尔ニ進ム其兵ハ噶什喀尔ノ脱籍人浩

軍ノ民兵ウズベク人キプチャク人カラキルギズ人及ヒカラテギンヨリ出テ山民タツジークト名クルモノヨリ出ルモノニシテタツジーク人ハアンヂジャン府ノ要塞司令官タリシイサダトハ之ヲ引率セリ其時伊犁ノツジャンツジャンハ自ラ支那兵ニ將トシ出テ之ヲ迎ヘシト雖モ大ニ敗レ退テ噶什喀尔府ノ近傍ナルグリバフ城ヲ固守スツベンギルハ進テ噶什喀尔府ニ入ルニ人民歡呼シテ之ヲ迎ヘセイダツジエンギルスルタンノ

參謀本部

号ヲ奉ル

噶什喀尔府ヲ除クノ外諸府ノベークハ皆其位
ヲ存ス唯「コムール」府ノ官吏ハ人民ヲ壓制セシ
テ以テ「アフン」回教ノ裁判ニ附シ之ヲ死刑ニ處
セリ

「ツジエンギル」ハ務テ温和ノ政ヲナシ支那人ニ党
セシ人々モ亦之ヲ採用シ以テ人民ノ望ヲ収
ム
「ヤンギギサール」府「カルケンド」府及ヒ「ホタン」府
ノ人民ハ「ホドジャ」ノ噶什喀尔ヲ取りシテ知リ

蜂起シテ支那ノ衛戍兵ヲ殺シ其保城ヲ毀テ民
兵ヲ遣ハシテ「ツジエンギル」ノ兵ヲ援ケシム其時
「ツジエンギル」ハ既ニ噶什喀尔ノ「ダリバフ」ヲ圍メ
リ
同年六月浩罕ノ汗ハ一萬五千ノ兵ヲ率ヒ來テ
「ツジエンギル」ヲ援ク然レ其兵ハ帝ニ救援ノ益ヲ
為サ、ルノミナラス大ニ其利ヲ失ヘリ浩罕ノ
汗ハ再ヒ進戦シテ利ヲラス噶什喀尔府ニ留マ
ル「十二日」ニシテ遂ニ其國ニ歸リ「ガジ」ノ位
ニ即キ金錢ヲ鑄造セリ

グリバフハ困ラ受ル^一七十日ニシテ遂ニ降ル
其時^マンダリン^官ハ自殺シ八千乃至一万人ノ
衛戍兵ハ尽ク戮ラ受ク唯^イスラム^回ヲ奉スル
ノ支那人及ヒツンガン^人四百人ハ其命ヲ保ツ
ヲ得タリ
ツジエンギル^ハ噶什喀尔府ヲ取り浩罕国ノ政事
ヲ模倣シ支那人ノ衣服ヲ廢シ支那人ノ施政ヲ
改革ス然^氏其布置ノ方法ヲ誤リ人民ノ望ヲ得
ル能ハス人民ノ軌ヲ解カシ為メニ來リテ却テ
人民ノ害ヲ醸セリ

支那人ハ^ツジエンギル^ノ無能ナルニ乘シ^アクス
^一府ニ於テ大軍ヲ集メ千八百二十七年二月噶
什喀尔府ニ向テ進ム其時^ツジエンギル^ハ無頼ノ
徒ヲ集合シ出テ之ヲ迎ヘシト雖^氏其兵器甚々
粗惡ナリ

ワリハノフ^氏ノ記スル所ニ因レハ支那ノ兵
ハ七万人^ツジエンギル^ノ兵ハ二十萬ト云フ然
^氏其數ハ蓋シ其實ニ過ルモノナリ^リツテ^ル氏
モ亦支那ノ兵ハ六万ト記セリ
支那兵ハ其隊伍ヲ奇ヘ炮撃シテ忽チ^ツジエンギ

ルノ兵ヲ破ル其時浩罕ノ兵先ツ走りシニ因リ
其餘ノ兵ハ相繼テ尽ク敗走ヌホドジャハ僅ニ免
レテ山中ニ遁ルホドジャハ僅ニ免
ハ僅ニ九ヶ月間ノミ
北京政府ハ嚴令ヲ下シ「グジエンギル」ハ嚴令浩罕
「グハラ」ニ走ルト雖氏必ス之ヲ追捕セシム支那
兵ハ噶什喀爾府ヨリ「アライ」ニ進ム蓋シ其地ニ
「グジエンギル」ノ潛匿セリトノ風説アリシニ因レ
ルナリ
支那兵ハ是時二万人ノ大數ニ達シ其進行ノ為

メ之ヲ二縱隊ニ分テ第一縱隊ハ噶什喀爾府ヨ
リ「ウルグチャート」ニ至リ是ヨリ「トシムウルシ」ノ
峠ヲ過キテ「アライ」ニ進ミ第二縱隊ハ噶什喀爾
府ヨリ「ウパール」府ニ至リ「カルイ、クーリ」ノ邊ヲ
過キ「カズイル、アルト」ノ峠ヲ越ヘテ「アライ」ニ進
入ス其進軍ハ春時ナリシ
支那兵ハ是時大炮ヲ用ヒスシテ「タイフル」銃ヲ
携フ而テ商人モ亦其兵ト共ニ畜群ヲ逐フテ進
行セリ支那兵夜泊ノ時毎ニ惶ヲ掘リテ夜襲ノ
危害ニ備フ其惶ハ甚深カラスシテ今日ニ至ル

返猶存マリ

我輩ハ「イシナ」ノ天然境ニ於テ遑ヲ統ラセシ
支那哨兵ノ夜泊所ヲ見タリ「イシナ」ハ「テレク
ダワン」ノ峠ヲ距ル三十露里ニアリ

支那兵ハ「アライ」ニ屯スル「二十日」ニシテ小隊
ヲ四方ニ分遣シ「ツジエンギル」ノ潛匿所ヲ探ラシ
ム浩罕ノ汗「マダリハン」ハ支那兵ノ漸ク近ツク
ヲ見テ大ニ驚キ「アンダジャン」ノ「ハキーム」イサダ
トハニ令シテ二箇ノ要塞ヲ築カシム即チ「スー
ヒクルガン」及「クイズイル、クルガン」ノ二所ヲ

リ其二所ハ「噶什喀尔府」ヨリ「オージェ府」ニ至ルノ
南路ニ當レリ其要塞ハ殆ント戍所ノ如キモ
ノニシテ現今ハ唯其墟趾ヲ残スノミ
支那人ノ「ツジエンギル」ヲ搜索シテ「アライ」ニ在ル
ノ「ツジエンギル」ハ「噶什喀尔府」ヨリ「チャクマク」ノ
要塞ヲ過キ「アルイン」ノ要塞ニ至ルノ道ニ因テ
「ツ」ユン「河」ノ上流部ニ走ル支那人ハ既ニ其潛
匿所ヲ知リシヲ以テ「アライ」ヨリ「ウルグチャート」
ヲ過キ「噶什喀尔府」ニ歸リ行軍ノ需用物ヲ準備
シ「ツ」ユン「河」ニ向テ進ム其時「ツジエンギル」ノ親

臣ハ支那兵ノ逼ルニ驚キ四方ニ散走セシガツ
ジエンギルハ其友マ、トト熟睡セシヲ以テ遂
ニ支那人ノ為メニ捕ヘラル支那人ハ「ママト
ベク」ノ心ヲ翻シテ已ニ降りシヲ以テ「ホタ」ノ
「ベク」ニ任ス

「ツジエンギル」ホド「ジャ」ハ北京ニ送ル佛蘭西ノ傳教
師「グー」氏ノ記スル所ヲ見ルニ支那人ハ「ツジ
ンギル」ヲ北京ニ護送シ之ヲ鍊檻ノ内ニ入レ人
民ヲシテ縦觀セシム其時国帝モ亦之ヲ觀シト
欲セシニ因リ北京政府ノ大臣ハ大ニ其心ヲ安

ゼズ以為ラツ国帝若シ「ツジエンギル」ヲ見ルハ
「ツジエンギル」自ラ及乱ヲ起セシ所以ヲ説キ支那
官吏ノ残酷ヲ極メシ「ツ」ヲ談セシ然ルハ「噶什
喀尔」ニ遣ハセシ官吏ヲ監督スル能ハサルノ罪
ハ大臣ニ歸セサルヲ得スト且ツ其官吏ノ為メ
不幸ノ「ツ」ヲ生スベキヲ恐ル然レ国帝ノ「ツジエン
ギル」ヲ見シト欲スルノ心ハ止ム可ラス於是「マ
ン」グリ「ン」ハ大臣官吏ノ為メ其災ヲ避ルガ為メ
一計ヲ設ケ「ツジエンギル」ニ毒ヲ與ヘ以テ舌ノ働
キヲ絶テ啞トナラシメタリ

參謀本部

ツジエンギルノ国帝ニ謁スルキハ口外ニ返ラ出
シ異常ノ形ヲ為スト雖此国帝ノ問フ所ハ一ツ
モ其答ヲ發スル能ハス於是遂ニ其罪ヲ宣告シ
其体ヲ寸断シテ縦ニ犬ニ食ハシム
ツジエンギルノ處分ヲ終ヘ支那人ハ有罪ヲ罰ス
ルニ方リ殊ニ輕罪人ヲ困メ人ヲ刑シテ其財産
ヲ剥奪セリ又噶什喀尔ノ及乱ハ浩罕人モ亦與
テ罪アリトナシ噶什喀尔ニ住セシ浩罕ノ商人
ハ皆之ヲ禁錮シ且ツ浩罕ヨリ輸入スル所ノ商
品ヲ抑壓ス而テ「ゲハ」ラ及「ク」ツズ政府ト

約シ支那ノ茶ヲ直テニ其領内ニ輸送シ次ニ亞
業斯坦ニ及ボサントス
支那人ハ家畜ノ需用甚切ナルヲ以テ「カ」ラ「キ」ル
ギズ人ヲ罰スル能ハサリシハ甚奇トスベシ夫
ノ「キ」ルギズ人ハ第一ニ「ツ」ジエンギルニ党シ且ツ
其敗走ノ時ハ彼ヲ掩匿セシモノナリ
支那人ノ浩罕ヲ貿易ヲ壓制セシハ浩罕人ノ激
怒ルニ甚タ深シ支那帝ノ太子位ニ即クニ及
テ俄ニ其影響ヲ奏出ス
是時浩罕ノ主ハ「マ」ダリ、ハ「ン」ト名ツケ其人ト為

卷之八

早

リ才智ニ富メルニアラサレ氏其臣下ニ才能アリテ勇敢ナル人アリ其人ハ乃チ將軍ハク、クルイ及ヒ「ク」ジ、ベキ、リヤシカルナリ「ハク、クルイ」ハ「ウズベク」人ニシテ「ク」シユベキ、リヤシカルハ初メ波斯ノ奴隸ナリシガ役ニ「ベク」レル、ベクノ位ニ昇リ「マシケン」トノ太守ニ任セラレシモノナリ此二人ノ補佐アルヲ以テ「マグリ、ハン」ノ治ハ浩罕ノ歴史中尤モ太平ヲ以テ称セラル故ニ「カウ、キルギズ」及ヒ大部落ノ「キルギズ」人ハ漸次浩罕ニ從屬シ而テ政畧ト兵力ニ因テ「カウ、テゲ

シタルワ「ト」ズ「ク」ト「リ」ヤ「ト」グ等カ山地モ亦浩罕ノ領地ニ歸ス「マ」リ「マ」リ「マ」リ支那人ハ浩罕ノ貿易ヲ抑壓セシニ因リ浩罕ノ主「マ」ダリ、ハンハ之ヲ憤激シ支那人ト戦端ヲ開ク「マ」ラ決ス其時「マ」ダリ、ハンハ噶什喀尔人民ノ心ハ「ホド」シ「マ」ニ歸向スルヲ知リ「バ」ラヨリ「ジ」エ「ン」ギルノ兄「メ」ト「ズ」ユス「ト」ラ招キ以テ回教人ノ為メ不正ノ軼ヲ解キ「メ」ト「ズ」ユス「ト」ラシテ其位ニ復セシムルヲ以テ兵ヲ擧ルノ名トナセ

卷之四

此出軍ノ為メ招集セシ兵員ハ甚々衆シ其兵員
ハ浩罕人二万人「タシケン」ト人一万五千人「カ
ラ」テギンヨリ出デシ山地ノ「タヅジイク」ニ千人及
ヒ鳴什喀尔ノ脱籍人数千人ナリ其總負凡ソ四
万人ニシテ大炮十門ヲ備フ其大炮ハ駱駝ヲ用
ヒテ山ヲ踰サシム
以上ノ大軍ハ「ハク、クトルイ」之ヲ引率シ千八百
三十年九月鳴什喀尔ニ進ム支那人ハ三千人ノ
兵ヲ以テ之ヲ平野ニ迎ヘシカ天然境シシ、ユ
リニ於テ敗績ス其地ハ鳴什喀尔府ヲ距ル四十

四露里ニアリテ輓今ニ至リ「バダウレ」トノ小
ナル要塞ヲ築キシ所ナリ支那兵敗績セシ後ハ
浩罕ノ兵進ンテ鳴什喀尔府ヲ取ル於是「メー
ヅ、ユス」トフハ國政ヲ握ル
「ハク、クトルイ」ハ支那ノ衛戍兵固守スル所ノ「
リ」バフ^保城ヲ圍ミク^シシ、ベキ、^シヤカルヲシテ
鳴什喀尔國ノ諸府ヲ攻畧セシム其軍大ニ利ア
リ又シカラスシテ「ヤンギ、キサー」ル「アルケ
ン」ド
「ホタシ」及「アクス」トノ諸府ハ速ニ「メー
ヅ、ユス」トフノ權下ニ屬マ然ル「メー
ヅ、ユス」トフノ權ハ

參謀本部

唯人民ノカニ頼リシモノニアラス概ホ浩罕兵
ノ援助ニ頼テ立チシモノナレハ其權忽テニシ
テ振ハス

千八百三十年十一月浩罕ハ「ブ」ハ「ラ」ト不幸ノ閑
係ヲ生セシヲ以テ其兵ヲ本國ニ招還ス其特「メ
」ヅ、ユス「フ」ハ獨立シテ支那人ニ敵スル能ハ
サルヲ知リ浩罕ノ兵ト共ニ浩罕國ニ歸ル其噶
什喀尔ノ政ヲ執リシハ九十日間ナリ是時ハ「ツ
」ジンギルノ侵入セシ時ニ比スレハ支那ノ權威
更ニ衰ヘリ

「マ」ダリ、ハ「ン」ハ翌年即チ千八百三十一年ノ春更
ニ「カ」ラ、キ「ル」ギ「ズ」ヲ撃タント欲シテ軍ヲ出ス其
軍ハ「サ」ル「イ」ン「ノ」上流部ニ達シ遂ニ伊犁州ヲ侵
ス其翌年浩罕人ハ「ナ」ル「イ」ン「ノ」畔ニ於テ「ク」ル「ト
カ」ノ要塞ヲ築キ又「パ」ミ「ト」ル「高」地ノ南ニ於テ「タ
シ」ユ「ク」ル「ガ」ン「ノ」要塞ヲ築ク当時噶什喀尔國ハ浩
罕人ノ附属地トナルカ如ク而テ支那人ノ管轄
セシ所ハ「ホ」ド「ジ」ヤ「ノ」侵入或ハ「カ」ラ、キ「ル」ギ「ズ」ノ侵
掠ニ因テ常ニ暇日アル「ナ」シ
支那人ハ浩罕ト戰フハ其力ノ足ラサル「ト」思

惟レ其政畧ヲ変シ千八百三十一年使ヲ浩罕ニ
遣ハシ其汗ト和議ヲ講ス浩罕ノ汗「マダリ、ハン」
ハ之ニ對ル為メ又使ヲ北京ニ送ス其使節ノ長
ハ商人「ヤリム、バツシ」ナリシカ其議和ノ議ニ
於テ浩罕ノ為メニ便益ノ條約ヲ決定ス
「アリム、バツシ」ノ北京ニ於テ決定セシ條約ハ左
ノ如シ

第一條 外國ヨリ東部土耳其斯坦ノ六府即チ
「アクス」^ア「ウチツル」^ウハン「鳴什喀尔」^マ「ヤンギ、キサー」^ヤ
「ル、ヤルゲン」^ル「ド」及ヒ「ホタニ」ニ輸入スル商品ノ税

ハ浩罕人之ヲ占有スヘシ

第二條 商品税ヲ收ムル為メ浩罕國ハ以上ノ
各府ニ貿易監察所ヲ設ケ又「鳴什喀尔」ノ監察所
ヲ以テ各監察所ヲ監督セシメ其監督長ハ政事
上ノ事件ニ関スルヲ得ヘシ

第三條 以上六府ニ來ル所ノ外國人ハ行政警
察ノ「」ニ付テハ尽ク浩罕ノ監察所ハ屬セサル
ヲ得ス

第四條 浩罕國ハ自ラ「ホドシ」ヲ監察シ其境外
ニ走ルヲ禁シ若シ其禁ヲ犯スモノハ之ヲ流配

スベシ

千八百三十二年支那ニ使ヒロシアリム、パヅヤ
ヲ以テ始テ噶什喀尔ノアクサカール^ル監察ニ任
ス「アリム、パヅヤ」ハ分地ヲ領シテ其職ヲ務メリ
尔後浩罕人ノ特権ハ日ニ噶什喀尔国ニ廣張セ
リ

條約ハ支那人ノ為メニ使ナラスト雖氏之ニ因
テ十五年間即チ千八百四十七年ニ至ル迄平穩
ニ噶什喀尔国ヲ領スルヲ得タリ浩罕人ハ噶什
喀尔国ニ於テ特権ヲ有シ「ホドジャ」ヲ援助スルヲ

以テ其利トナサス之ヲ監察スル^ル甚嚴ナリ然
ルニ其監察ノ嚴ナル^ル千八百四十五年幼冲ノ
「アドヤル、ハシ」浩罕ノ国主トナリシヨリ漸ク衰
ヘリ其時浩罕国ニ騷乱ヲ發シ其影響ハ噶什喀
尔ニ延及ス「カラキルギズ」人ハ浩罕行ノ弱ナル
ニ乘シ噶什喀尔ヲ侵略ス浩罕ノ監察ノメトド
ハン^ルハ之ヲ鎮撫スルノ責任ヲ受ルト雖氏賄賂
ヲ受ケテ果斷ノ處置ヲ為サス
浩罕ノ騷乱ヨリ「ホドジャ」モ亦其隙ニ乘セリ
千八百四十七年七人ノ「ホドジャ」ハ其親任^リモノ

數百人ト共ニ浩罕ヨリ遁走シ山中ニ入り騎馬
ニ巧ナル「グジギート」人ヨリ其党与ヲ集合シ遂
ニ噶什喀尔ニ於テ事ヲ舉シ「」ヲ決ス其「ホドジ
」ノ首領ハ「カタ、チー」一名「ホドジ、チー」ト呼フ
其餘六人ノ「ホドジハ」カタ、チーノ實兄弟「キチ
」キ子、ハニ其從兄弟「ワリハン、チー」タワカル、左
「」サビール、ハン、チー「」アク、カカン、ホドジ及
ビ「」ハン、チー「」ナリ「ホドジ」ノ党与ハ「キルキ
」ズ人其平敵ニ過キ之ニ次クモノハ「キフヤツ」人
ニシテ「」ト人最モ少シ

「イシャハン、チー」ハ千八百六十五年プラト、ハ
「」ノ時大ニ其名ヲ擧ケ其後千八百七十六年
「プラト、ハン」ノ時大ニ其名ヲ擧ケ其後千八百
七十六年「アブツラ、ベク」ノ及乱ヲ起セシキ之
ニ與ミシ而シテ之ト共ニ遁走シ露國ノ兵「ア
」ライニ進ミシキハ唯其名ヲ聞キシノミ
「ホドジ」ノ進行ハ輕易ニシテ天幕荷車ヲ用ヒス
「」府ヨリ六日間ニシテ已ニ「ミン、ウル」ノ成
所ニ達ス其成所ハ支那人第一線ノ警固所ナリ
此ニ化セシ支那兵百人ヲ殺シ其成所ヲ毀行可

卷
謀
部

カッタチーリヤハ道ニ其群ヲ集メ即日噶什喀尔府
ノ前ニ現出ス
支那人ハ其慣手段ヲ用ヒ三千人ノ兵ヲ以テダ
リバフヲ守ル其兵ハ弱ニシテ圍兵ヲ突キシト
雖ニ遂ニ敗ル然レ府内ノ人民ハ前キニ慘酷ノ
刑ヲ受ケシテ以テ今回ハグリバフノ降ヲサレ
以前ハカッタチーリヤノ為メニ府門ヲ閉クヲ欲
セザリシ
浩罕ノ商人ハホドジャヲ獲ケルヲ以テ浩罕ノア
クサカール「サメグ、ハン」ハ其党與ト共ニ八日ノ

夜府門ヲ閉テ「ホドジャ」ヲ納ル「ホドジャ」ノ府内ニ入
ルヤ先ツ支那ノ商人ヲ屠リ其財産ヲ没収ス
「カッタチーリヤ」ハ噶什喀尔府ノ主トナリ其餘ノ「ホ
ドジャ」ハ其近傍ノ諸村ヲ分領ス
「ホドジャ」ハ浩罕人ノ保庇ヲ受ケ唯遊樂ヲ務トシ
人民ノ望ヲ収攬スルヲ能ハス又地方ノ政務ニ
カラ用井ス唯金錢ヲ得ルヲ以テ主旨トシ其近
臣ノ収斂スルニ從テ之ヲ取り更ニ其源由ヲ撰
ハス
「ホドジャ」ハ噶什喀尔一國ヲ略スルノ望モ亦之ヲ

參謀部

決行スル能ワサリシ「ホドジ」中尤モ才能アル「タ
ワカル、チーリヤハ「アクス」府ヲ進撃シ「カッタ、チー
リヤハ「ヤルケン」ドヲ進撃セシガ其時「クリジヤ」ウル
ムチ及ヒ「リヤン、チゼイ」等ヨリ突セシ支那人兵二十
万人ハ己ニ「アクス」府ニ來リ十一月ニハ噶什
喀尔府ニ向テ進ミ「マラル、バー」ノ要塞ニ至リ
テ冬籠リヲ為ス然レモ「ホドジ」ハ大ニ怖レテ支
那人ノ進ムヲ待タズ自カラ利ヲ敵ニ讓レリ
「カッタ、チーリヤハ」支那人兵ノ進行スルヲ聞キ「ヤルケ
ン」ドニ達セシテ兵ヲ噶什喀尔府ニ返ヘス府

民ハ「ホドジ」ノ為メニ苛税ヲ負ヒ壓抑ヲ被リシ
ヲ以テ府ヲ閉チテ之ヲ納レスカッタ、チーリヤハ一
万八千ノ兵ヲ率ユト雖モ支那人ノ先鋒六千人ノ
兵ハ忽チ之ヲ破ル於是「ホドジ」ハ其政ヲ執リシ
間ニ於テ人民ヨリ収斂セシ財宝ヲ携ヘ衆ニ先
チテ走ル於是全軍皆チ敗走ス支那人ハ容易ニ
敵ヲ破リシヲ以テ其心惰タリ敢テ之ヲ追撃セ
ス
我輩ノ此ニ記述セシ事件ハ支那人之ヲ名ケテ
「ホドジ」セ人ノ乱ト曰フ支那人ハ是事件ニ付キ

參謀本部

噶什喀尔國ノ脱籍人ヲ招還スル能ハサリシハ
大ニ其方策ヲ誤リシモノト謂フヘシ其脱籍人
ハ噶什喀尔^カヤルケン^ド及ヒ^テ阿克苏^ス府等ノ人
ニシテ其數十万人ニ達ス其人々ハ支那人ノ刑
罰ヲ畏レ^テホド^クノ敗軍ニ追従モテ山中ニ走リ
其大部ハ噶什喀尔ヨリ^テオー^シニ至ルノ道ニ因
リ浩罕國ニ至ルノ近路タル^テレク^ク、ガワン^クノ峠
ヲ過キテ進行ス是ノ脱走ハ一月ニ在リシカ寒
氣酷烈ニシテ降雪甚深キヲ以テ脱走人ノ大半
ハ皆凍死セリ

「カ」^タチ^ユー^リヤハ良馬ニ跨リ暖衣ヲ着ケ尽ク需用
品ヲ準備シタルモノト共ニ走ル而テ其従者ハ
凡ソ二十人ニシテ駱駝十二頭ヲ率ヒ之ニ駕ス
ルニ人民ヨリ掠奪セシ銀ヲ以テステレク、ガワ
ン^クノ峠ヨリ二十五露里^ノオ^ー^シ府ヨリ百五露里
ノ所ニ在ル^スー^ヒ、クルガ^ニニ至リ已ニ追兵ノ
及フ能ハサルヲ慮リ此ニ止リテ其掠奪物ヲ従
者ニ分配ス然レ其分配未タ終ラサルニ浩罕ノ
セルケ^ルハ^キブ^ク人ヲ率ヒテ此ニ來リ其財
宝ヲ取りテ之ヲ記録シ其群ノ兵器ヲ奪ヒ放テ

參謀部

家ニ歸ラシメ、カクム、チユ一、リヤヲ擒ニシテ、浩罕ニ歸
ル
カクム、チユ一、リヤノ後ニ、繼テ、脱走人ノ、スー、ヒ、クルガ
シ、ラ、過ルモノ、累々トシテ、絶ヘサル、一、三十日間
ニ、連レリ、其、脱走人ハ、男女、少、長、相、携ヘ、各、其、財産
ヲ、提ケ、或ハ、馬ニ、跨ルモノ、アリ、或ハ、徒歩スルモ
シ、アレ、臣、徒歩スルモノ、最モ、多シトス
初ノ、十日間ニ、脱走セシモノハ、無事ニシテ、其日
教間ニ、テ、レ、ク、タ、ワ、ン、シ、ノ、峠ヲ、越ヘ、恙ナク、カ、オ、一、シ、
府ニ、達スルヲ、得タリ、然レ、其、後ハ、寒氣、俄ニ、酷烈

トナリ、積雪甚深シテ、脱走人ノ、腰ヲ、没ス、故ニ、人
々、僅ニ、能ク、足ヲ、移シテ、進ムヲ、得ルノ、ミ、力、尽テ
後ル、モノハ、凍死ス、凍死スレハ、降雪、忽チ、其、屍
ヲ、埋没ス、夜中モ、亦、進行スルヲ、以テ、穴中ニ、陥落
スルモノ、甚多シ、是時ハ、積雪甚深ヲ、シラ、全隊ヲ
埋没スルニ、至ル、実ニ、其、慘状ハ、言フニ、忍ビ、サ、ル
ナリ
人々ハ、餓ヲ、凌クノ、情甚切ニシテ、水濕ヲ、帶ヒ、夕
ル、麦粉一碗ノ、為メニ、其、外套ヲ、脱シテ、之ニ、與ル
ニ、至ル、カ、ル、ト、人ハ、其、機ニ、乘シ、早死ノ、脱走人ニ

就テ利ヲ射リ大ニ富メルモノアリ是時人屍ハ
テレクダワン^レノ峠及ニ其両方ノ道ヲ掩ヘリ斯
ノ如キ不幸人ノ遺骨ハ今日ニ至ル迄三十年ノ
星霜ヲ経ルト雖^レ尺尚其地ニ残レリ

我輩ノ^レテレクダワン^レノ峠ヲ過キシハ十月及
ニ三月ノ兩度ナリ其時降雪道ヲ埋メリト雖
尺峠ヲ距ル遠カラスシテタルウズノ辺邊ニ
在ル洞穴内ニ男女童子ノ遺骨十五アルヲ見
メリ其遺骨ハ相雜錯シテ衣服ト共ニ朽ツ其
他ノ場所ニ於テモ亦教筒ノ髑髏ヲ発見セリ

浩罕ノ官吏ハ此脱走人ヲ救助スルノカラ尽サ
ス唯^レカッタ^レを^レリヤ^レノ官金ヲ奪フ^レヲ務メ三十人
ノ^レサルバズ^レ人ヲ遣シ雪中ニ埋没スルノ財産ヲ
警守セシメシノミ

「マルゲラン^レノ^レベ^レク^レ官名詳ウタンバイク^レシ^レバ
^レギ^レハ此脱走人ヲ救助スルカ為メ殊ニ三百ノ
馬ヲ遣ハシ一頭ニ二人ヲ載セ六百人ノ命ヲ救
フ

春時役夫ヲ遣ハシ警守兵ヲシテ之ヲ監視セシ
メ以テ雪中ヲ掘ラシメシニ器具金錢ヲ掘リ出

ス一甚タ多シ而テ金錢ハ銅貨尤多シト云フ
財産ヲ掘開スル為メニ凍死ヲ探リ之ヲ地とて
放擲シテ埋瘞セス但シ浩罕國ヨリ命スル所モ
亦唯其財産ヲ取ルノミニシテ之ヲ埋葬スルノ
一ヲ命セス故ニ役吏亦埋葬ヲ以テ已ガ責トナ
サス只財産ヲ求ルガ為メニ大ニ其カラ尽セシ
ナリ然レモ財産ヲ探ルノ目的ハ遂ニ空シ蓋シ富
人ハ噶什喀尔ニ留ルモノアリ或ハ走ルモノア
リ走ルモノハ初メノ十日間ニ於テ是地ヲ通過
シテオ一江府ニ達シ而シテ凍死セシモノハ概

ネ貧窶ノ人々ナレハ金銀ヨリモ銅貨甚多キ所
以ナリ浩罕國主ノ命令ニ因テ財産ヲ探ルモノ
ハ凍死セシ家畜ノ皮ヲ剥クニ至レリ
「サレトラール」一部ノ長タル「カラ、キルギス」人
ノ「ムッスリマン、ビー」ナルモノハ其親見人ト共
ニ「スービ、クルガン」ニ於テ予ニ此慘状ヲ談話
セリ其言ニ因リ「サレトラール」族ノ「キルギ
ス」即チ「テレク」ノ狹谷ニ遊牧スルモノハ其後
三年ノ間「テレク」河ノ水ヲ飲マズ何トナレハ
腐屍其河ニ滿ツルヲ以テナリ「ムッスリマン」ビ

其張幕ヲ距遠カラサル所ニ於テ死屍ヲ
埋葬スルノ三百ニ及ブ而テ其兄弟ハ天然境
^クリヤンカ、ツカイニ於テ二百ノ屍ヲ埋葬スト
云フ

支那人ハ再ヒ噶什喀ルヲ領シ^ホド^ジヤ人ノ為メ
ニ三タヒ破壊セラレシ順序ヲ整頓スルヲ務
ム於是人民ハ其カト財産ヲ以テ支那人ニ償還
スルヲトハナレリ

支那人ハ其隣國タル浩罕ノ利益ト共ニ己レノ
利益ヲ平安ニ保有スルハ尤モ難シ浩罕國ニハ

當時騷乱アリト雖モ支那人ハ彼ト共ニ千八百
五十一年ニ盟約セシ條約ヲ再行セサルヲ得サ
リニ支那人ハ斯ノ如ク浩罕人ニ讓ル所アリシ
ヲ以テ浩罕人ハ益々不礼ヲ極ム浩罕人ハ^サメ
ド、ハン^ラヲ以テ噶什喀爾府ノ^アク^サカ^{ール}トナ
シ且ツ^ホド^ジヤヲ監視スルノ甚緩ナルノミナラ
ス自ラ其又乱ヲ~~起~~至レリ然モ千八百五十
五年同ク五十六年ニ於テ^ワリ^ハン^ニ左^リヤ及ヒ
^キチ^ク、^ハン^ノ舉ハ其功ヲ奏スルノ能ハザリシ
^ワリ^ハン、^左リ^ヤハ千八百五十七年四月再ヒ事

ヲ擧ケ前線成所ノ衛戍兵ヲ殺シエ人ノ衛戍兵
ヲ降伏ス

支那人ハ不意ノ襲撃ヲ受ケ其「グリバフ」ニ入リ
テ拒守ス「ワリハン、チュ」ハ夜中府内ニ侵入シ
人ヲシテ市街ヲ馳セ呼バシメテ曰ク「ブズル
ク、ハン、チュ」健全ナリト

「ブズル」ク、ハン、チュ「ハ」ツ「ン」キルノ一子
ニシテ其性慈仁平和ヲ好ミ大ニ民心ヲ得ル
ヲ以テ「ワリハン、チュ」ハ其名ニ因テ速カニ
府ヲ領セシ「ワ」ヲ欲セシナリ其後「ブズル」

ハンハ其目的ヲ以テ「マク」ブ「ベ」ノ軍ニ從
ヘリ

人民ハ一時ハ蜂起シ支那ノ衛戍兵及ヒ商人ヲ
殺シ以テ「ワリハン、チュ」ニ應ス於是「ワリハン、
チュ」ハ汗流ヲ称ス而テ邊傍ノ「ク」シ「ラ」ク
ノハ各々惣代ヲ遣ハシテ其称号ヲ賀ス

鳥合ノ衆ハ四方ヨリ集至ス「ワリチュ」ハ巧ニ
之ヲ編制シ歩兵砲兵ノ二隊ニ分ツ步兵ハ「サル
バ」ズト曰ヒ砲兵ハ「ツ」ギ「ト」ト曰フ軍隊ノ
衣服ハ種々ニシテ簞ヲ以テ分テ五百人毎ニ「バ

シサト一人ヲ以テ長トナス
人民ハ忍テホドシテ施政支那人ノ施政ヨリ更
ニ困苦ナルヲ覺知セリアリハシ、左レヨハ浩
罕人ニ依頼シテ土人ヲ輕侮シ之ニ負ハシムル
ニ未曾有ノ苛税ヲ以テス人民ハ金穀ヲ納ムル
ノ外攻圍ノ苦役ニ從事セサルヲ得ス當時支那
人ハ「ヤンギギサール」ノ城壁ヲ保守スルヲ以テ
之ニ漑ガン為メ人民ハ群ヲ為シ日々ニ鋤鋤ヲ
荷フテ「クズール」スー河ニ出テ其水ヲ塞クノ役
ニ服ス

人民并ニ外国ヨリ來レル商人ハ軍需ノ為メ其
銅器及ヒ馬ヲ出サハルヲ得ス而テ職人ハ尺ク
武器ノ製造ニ從事ス亞業斯坦人ノ一人ハ鑄造
ノ業ヲ執テ八門ノ大砲ヲ鑄造スト雖其製作
極メテ粗ナリ
人民ノ風俗ヲ矯制スルハ賦課ノ重困ヨリモ
甚シク婦人ハ面ヲ露シ髮ヲ垂レテ市街ヲ通
行スルヲ禁ス若シ其制ニ背キテ髮ヲ垂ル、モ
ノアルハ警察吏之ヲ截ル男子六歳以上ニ至
レハ「チャル」帽子ヲ戴キ一日ニ六タヒ回教堂ニ

參謀本部

詰ラサルヲ得ス
ワリハンハ其性残忍ニシテ日トシテ數十人ヲ
刑セサルヲナシクズイル、
河畔ニ於テ支那
人及ム、ムスリマンノ頭ヲ以テ、
ミドヲ染
キ日ニ其高大ナランヲ務ム、
ワリハンノ自ラ、
快トスル所ハ手ズカラ罪人ヲ殺スニ在リ而テ
死ニ就クノ罪人ハ甚タ多キヲ以テ常ニワリハ
レノ快心ヲ充タスニ足ラサルヲナシ、
ワリハン
ハ言語動作ノ小過アリト、
魚氏之ヲ以テ人ヲ殺
セリ、
獨逸人アドーリス、
シラギントウエイト氏モ

亦其殺ス所トナル人頭ノ
ピラミードヲ増スノ
一具トハオレリ、
二年間、
噶什喀爾ニ在リ、
露國
ノ旅人、
ワリハンノ報告ニ因レハ、
シラギ
ントウエイト氏ノ刑ニ就キ、
シハ孟買ヨリ送り來
リシ紙ハ、
浩罕汗ニ與フヘキモノナレハ、
之ヲワ
リハンニ與ヘサリシニ、
因ルト云フ
噶什喀爾府ヲ除ク外、
皆ワリハン、
チーヤノ施
政ヲ拒絶ス、
故ニ、
アクス、
シラギ、
ギサール、
ヤル
ケンド、
及ヒ、
ホタンノ諸府ニ、
向テ軍隊ヲ分遣ス
然レヤ、
シラギ、
ギサールノ一府ヲ畧スルヲ得シノ

ワリハン、チュールノ管轄セシ時日ハ幸ニシテ久
シカラス千八百五十七年一月ニ於テ支那兵ハ
既ニ者什喀尔府ニ迫リ其時人民ハ皆欣喜シ
テ之ヲ迎フワリハンノ此府ヲ領セシハ僅ニ四
ケ月間ニ過キス支那兵ノ迫ルニ及ンテワリハ
シノ軍兵ハ逃走セシヲ以テワリハンモ亦之ニ
次テ走ル是時ホドジヤワリハンニ徒テ浩罕ニ
走リシモノ一萬五千戸ナリ
支那人ノ府内ニ入ルヤ其施為スル所ワリハン、

續編

チュールヤノ獸行ニ讓ラス人民ノ家畜、穀物、牧草ヲ
掠奪シ回教堂ヲ燒キホドジヤノ墳墓ヲ開テス京
中最モ残虐ノ行ヲ為セシハカウマイク人ナリ
カウマイク人ハ其馬ヲ回教堂ニ養ヒ無罪ノ土
人ヲ殺シ婦人ヲ強姦セリ
是時支那人ノ罪人ヲ探究スルニ極メテ嚴ヒ
テ及ニ党シ及ワリハン、チュールノ時官吏々
リシモノハ固ヨリ論スルヲ待タスシク疑ハ
シキモノモ亦死刑ニ處シ与リ知ラサルモノハ
慘酷ノ鞫問ヲ為シ無理ノ証跡ヲ穿ツテ無罪ノ

參謀本部

人ヲ刑スルノ罪人ノ如シ支那人ノ刑戮セシ人
負ハ「ワリハン」トシテ「シ」ニ譲ラス唯之ト差別スル
所トモ「ハ」人頭ヲ以テ「ビ」ニ「ド」ヲ禁カスシ
テ「噶什喀」府ノ諸門ニ通スル道傍ニ梟木ヲ駢
列スル「官道」ノ駢樹ノ如キニ在ルナリ千八百
五十九年露國ノ旅行者噶什喀ルニ至リシ時ハ
「ワリハン」トシテ「シ」ノ逃走後既ニ二年ヲ経シト雖
モ尚ホ其梟木アルヲ見シト云フ
「ワリハン」トシテ「シ」ノ政ヲ執リシ「ド」ハ尤モ精
細ナル「ハ」露國地志協會千八百六十一年ノ

報告中「ワリハン」氏ノ章ニ載ス我輩其章ヲ
引用スル「ド」多シ
今回支那人ハ浩罕國トノ約束ニ因ラス噶什喀
ル國內ニ「ホド」ヲ納レス浩罕國ト盟約セシ條
款ハ已レニ利アラレルヲ以テ之ヲ履行セサラ
ント欲ス
千八百五十八年「ド」ナル「ハ」自ラ使節トナ
リ「噶什喀」ルニ來リ不幸ノ事件アリシテ嘆シ又
將來ノ「ド」付種々ノ約束ヲ為シ而シテ千八百
三十年ノ條約ヲ履行セシ「ド」ヲ請ハカス

卷第下

是時支那人ハ其意ニ同シ其條約ヲ決定セシナ
スレデシ、ナルカラハ浩罕ノ「アクサカール」ニ任
シテ「ウハ」ノ号ヲ受ケリ
「ワリ」ニ、左ノ事ハ其後浩罕國ノ貴族ノ為メニ
保庇セラレ以テ浩罕ニ守居スルヲ得タリ其貴
族ハ預言者ノ末裔タル「セイド」ニシテ回教ノ法
ニ因リ其死刑ヲ免除セシナリ
「ホド」^ジ第四回ノ及乱ハ其結果斯ノ如シ蓋シ第
四回ノ及乱ハ大ニ国内ヲ擾乱シ人ヲ刑スル
數千人ノ多キニ至リ且ツ其刑ヲ受ケシ人ハ概

テ無罪ノ人ニシテ有罪ノ巨魁及ヒ重罪ノ党與
ハ走テ其命ヲ保存シ却テ雷同セシ人ハ其殘
テ支那人ノ犠牲ニ供セリ

Handwritten text in cursive script (草書) on the left page, including a large character at the top and several lines of text below.

Printed text in vertical columns within a red-lined frame on the right page, likely a transcription or commentary.

Vertical red text on the right edge of the page, possibly a title or page number.

